

第30回 近畿クラブバスケットボール選手権大会
兼 **第38回 全日本クラブバスケットボール選手権大会 近畿予選**

大会名 日付 平成24年1月22日 開始時間 14:30 会場 和歌山ビッグホエール

男子決勝

メイクアップ (大阪1位)	91	17	Period 1	19	90	スリー ホーシズ Three Horses (大阪4位)
		15	Period 2	18		
		26	Period 3	14		
		19	Period 4	26		
		14	Extra Period	13		

No.	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	Ft	Foul	No.	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	Ft	Foul
0	水戸 浩二	×	7		4	3	4	0	西塔 佳郎	×	28	18	8	2	4
1	山下 潤		0					1	阿藤 広樹		0				
3	守屋 卓哉		0					2	城前 暢		0				
4	本田 良平		0					3	川曾 努	×	16	6	8	2	4
5	中島 英文	×	5		4	1	5	4	沼 竜司		0				
6	西村 友晴		0					5	吉川 友基	×	0				5
7	林 卓司		0					6	島田 哲治		0				
11	吉田 好葵		0					8	今田 太裕	×	13		8	5	2
13	熊谷 弘基	×	17		10	7		9	坂倉 雄一	×	7	3	4		5
14	中島 将史		0					11	中野 和哉	×	6	6			2
15	鳥 和成	×	21		18	3	2	13	カミール ビリー		0				
16	長倉 脩	×	20		20		3	14	小林 直也		0				
17	成川 耕平	×	16		12	4	4	16	松田 靖之	×	20		18	2	2
23	田原 翔	×	5		4	1	1	17	和田 竜三郎		0				
33	神谷 佳宏		0					49	新谷 敏郎		0				
57	竹内 勇貴		0								0				
計			91	0	72	19	19	計			90	33	46	11	24

主審 紀ノ岡 哲士 副審 川路 宗勅 雲井 俊一

【1Q】
メイクアップ (5)(13)(15)(16)(17) Three Horses (0)(5)(8)(9)(16) 両チームマンツーマンディフェンスでスタート。序盤、両チームともにアウトシュート中心に得点を重ねる。メイクアップは(13)(16)、Three Horses は(9)を中心に攻撃を展開。お互いに譲らず 17-19 Three Horses リードで1Q終了。

【2Q】
たちあがり Three Horses がターンオーバーからの速攻などで連続得点。しかし、メイクアップも(17)の連続得点で点差は広がらない。6分経過した時点で Three Horses (8)のオフェンスリバウンドからの得点、(3)の速攻などで得点を重ね、最大7点差まで得点差を広げるが、メイクアップも(16)のインサイドプレイで反撃。再び同点となるが、終了間際 Three Horses (11)の連続3Pが決まり、32-37 Three Horses リードで2Q終了。

【3Q】
両チームとも、これまでと変わらずマンツーマンディフェンスでスタート。Three Horses はシュートが決まらず、4分間無得点が続く間、メイクアップは速攻、インサイドプレイで着実に得点を重ね逆転し、最大18点リードするが、Three Horses も(0)の連続3Pなどで、7点差まで詰め寄る。58-51 メイクアップリードで3Q終了。

【4Q】
開始直後、Three Horses (0)が3連続3Pで一気に逆転をする。その後、互いに譲らず得点を重ねて、1点差の攻防が続く。Three Horses 残り9.5秒 1点リードで、フリースローを1本決め2点差となったところで、メイクアップがタイムアウト。メイクアップは、アウトシュートを外すが、(17)が残り2秒でオフェンスリバウンドから、そのままタップシュートで 77-77 の同点となり延長へ。

【OT】
お互い譲らず、一進一退の攻防が続く。残り1分 フリースローにより Three Horses 3点リードするも、メイクアップが(23)のミドルシュートで1点差。残り8秒 メイクアップ (0) がアウトシュートを決め逆転。91-90 でメイクアップ勝利。

第30回 近畿クラブバスケットボール選手権大会
兼 第38回 全日本クラブバスケットボール選手権大会 近畿予選

大会名
 日付 平成24年1月22日 開始時間 14:00 会場 和歌山ビッグホエール

男子 5 位 決定 戦

ワカヤマキタ 和歌山北クラブ (和歌山2位)	62	11	Period 1	20	88	ディーライド D-ride	(和歌山1位)
		13	Period 2	23			
		26	Period 3	19			
		12	Period 4	26			
			Extra Period				

No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	Ft	Foul	No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	Ft	Foul
4	坂本 泰洋		0					0	田原 一磨		0				
5	平 晃知	×	7	3	2	2		1	松澤 雄介	×	9	3	4	2	2
6	土井 崇誠	×	6		6		2	3	上野 慎治	×	17	3	12	2	3
7	大迫 森生	×	8		8		3	5	大岡 廣輝	×	4		4		
8	白藤 洋平		0					7	大竹 拓哉	×	8	6	2		3
9	西村 維斗	×	7	3	4		3	11	小田 健一	×	2			2	
10	西崎 優記	×	0				2	16	和田 直大	×	4			4	1
11	中上 太	×	4		4		5	19	三田 一磨		0				
12	中西 壮典	×	14	9	4	1	1	25	宮本 誠士	×	18		16	2	1
13	峯尾 守	×	9		6	3	2	32	宮村 悠	×	17		14	3	1
14	尾西 教雄	×	3	3			2	34	山西 巧真		0				
15	石谷 竜ノ介		0					93	布居 怜	×	9		8	1	2
16	堂村 孝道	×	4		4						0				
17	井上 秀和		0								0				
18	西山 徹	×	0				1				0				
			0								0				
計			62	18	38	6	21	計			88	12	60	16	13

主審 服部 和明 副審 尾川 朋史

【1Q】
 和歌山北クラブ (5)(6)(11)(12)(13) D-ride (1)(3)(25)(32)(93) でスタート。ゲーム開始当初、お互いにシュートが決まらなかったが、徐々にシュートが決まりだす。D-rideは (1)(93) が 2ファウルでベンチに下がるも、(25)が連続ポイント。この時点で、和歌山北クラブは1回目のタイムアウト。その後も D-ride は得点を伸ばし、11-20 D-ride リードで1Q終了。

【2Q】
 D-rideは、(3)(7) の3P、和歌山北クラブは、(5) の3Pやドライブインなどで得点を重ねる。和歌山北クラブは、リバウンドがなかなか取れないところで失点し、D-ride は(7)の3Pなどが決まり、終始ペースをつかんだまま 24-43 D-ride リードで2Q終了。

【3Q】
 和歌山北クラブは、(9)の3P、(12)の3連続3P など得点を伸ばし点差を縮める。D-rideは (1)のアウトサイドシュート、(93)のリバウンドシュートで点を取るが、和歌山北クラブがディフェンスで粘りをみせ、50-62 D-ride リードで3Q終了。

【4Q】
 D-ride がペースをつかみ始めると、和歌山北クラブはパスミスなどが続き、連続ポイントを与えタイムアウト。その後も D-rideは (3)(32)が確実にシュートを決め、順調に得点を伸ばし 62-88 で D-ride が勝利。

大会名	第30回 近畿クラブバスケットボール選手権大会 兼 第38回 全日本クラブバスケットボール選手権大会 近畿予選				
-----	--	--	--	--	--

日付	平成24年1月22日	開始時間	12:30	会場	和歌山ビッグホエール
----	------------	------	-------	----	------------

女子決勝

ゼロ ZERO (奈良1位)	65	20 18 18 9	Period 1 Period 2 Period 3 Period 4 Extra Period	22 13 14 17	66	センボク 泉北クラブ (大阪1位)
--------------------------	----	---------------------	--	----------------------	----	-----------------------------

No.	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	Ft	Foul	No.	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	Ft	Foul
4	中野 科	×	9		8	1	1	4	弓削 紀子	×	8	6	2		4
5	下西 めぐみ	×	9	3	2	4	3	5	今井 千万子	×	9		8	1	3
6	上島 涼		0					6	榎田 久美		0				
7	岡田 正美	×	9		8	1	1	7	南 奈津子	×	6		4	2	4
8	田中 万裕美		0					8	福田 友美		0				
9	橋本 美弥子		0					9	石投 紀久美		0				
10	水原 美千代		0					10	戸石 実希	×	3	3			
11	米田 沙織	×	13	3	4	6	2	11	中野 裕子	×	0				
12	梅本 恵美	×	0				1	12	松本 英里子	×	18	9	4	5	1
13	谷 薫		0					13	西村 美幸		0				
14	矢野 真貴子	×	8	6	2		3	15	長野 江見子	×	1	1			5
15	山本 千加		0					16	河原 清美		0				
16	吉岡 詩穂		0					17	中井 和美		0				
17	片平 沙羅		0					19	松元 裕依子	×	21		20	1	3
18	藤田 奈央	×	17	3	8	6	4				0				
19	大島 朋子		0								0				

計	65	15	32	18	15	計	66	19	38	9	20
---	----	----	----	----	----	---	----	----	----	---	----

主審	木葉 一総	副審	新子 真規	谷 恵里奈
----	-------	----	-------	-------

【1Q】

ZERO (5)(7)(11)(14)(18) 泉北クラブ (4)(5)(7)(12)(19) 両チーム共にマンツーマンでスタート。泉北クラブ(5)のシュートなどでリードをするが、チームファウルが重み、リズムに乗れない。対するZEROは(18)のインサイドを中心にオフENSEを組み立てる。20-22 泉北クラブリードで1Q終了。

【2Q】

ZEROはディフェンスのプレッシャーを強め、泉北クラブのターンオーバーを誘発する。泉北クラブ(12)の3Pシュート、(5)のシュートで得点を繋ぐが、ZEROがアップテンポの展開をつくり、リードを奪う。38-35 ZEROリードで2Q終了。

【3Q】

ZEROはアップテンポな展開から(14)の速攻、3Pシュートなどでリードを広げる。対する泉北クラブは(4)、(12)の3Pシュートで対抗し、引き離されない。56-49 で ZERO リードで3Q終了。

【4Q】

泉北クラブは(12)の3Pシュート。(19)の速攻などで、リズムを掴み点差を縮める。ZEROはシュートがリングに嫌われ、ノーゴールの時間帯が続く。一進一退の攻防が続く、白熱した展開となり、終盤を迎える。ZERO(5)の3Pシュートでリードをするが、激しいディフェンスから最後に泉北クラブ(7)のシュートで逆転に成功。65-66 で泉北クラブが勝利した。

大会名		第30回 近畿クラブバスケットボール選手権大会 兼 第38回 全日本クラブバスケットボール選手権大会 近畿予選														
日付	平成24年1月22日			開始時間	12:30			会場	和歌山ビッグホエール							
女子 3位 決定戦																
リゲイン Regain (大阪2位)			63	18	Period 1			22	69	ドゥ コトガオカ Do! 琴丘 (兵庫1位)						
				20	Period 2			20								
				13	Period 3			17								
				12	Period 4			10								
				Extra Period												
No.	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	Ft	Foul	No.	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	Ft	Foul	
4	洲崎 美代子	×	0				1	4	三輪 容子	×	18		14	4	1	
5	井入 恭子	×	0				1	5	山端 深由		0					
6	塩谷 沙織	×	9	3	6		1	6	平井 理香		0					
7	伊勢 美樹	×	30	24	6		3	7	田口 誌穂	×	0				2	
8	西村 ちよ	×	4			4	3	8	北爪 順子	×	15	3	8	4	3	
9	前川 賀津	×	0				2	9	橋本 知里	×	9		8	1	3	
10	田中 未奈	×	5	3	2		4	10	深堀 友紀		0					
11	文 晃月		0					11	大野 紗恵	×	4		4		2	
12	竹内 貴子	×	0					12	畑 奈保子		0					
13	林田 和		0					13	蒲田 朋美		0					
14	岸本 清香		0					14	山田 緑	×	13		12	1		
15	中谷 典子		0					15	西川 絵美	×	10	3	6	1		
16	高橋 麻美	×	6	3	2	1	3	17	黒木 真悠		0					
17	今村 慶位子		0					18	濱野 未奈		0					
18	吉岡 朋世		0					19	安田 まどか		0					
19	藤井 彩子	×	9		8	1	2				0					
計			63	33	24	6	20	計			69	6	52	11	11	
主審		湊 正雄				副審		向井 浩晃								
<p>【1Q】 Regain (6)(7)(9)(10)(16)、Do!琴丘 (4)(8)(9)(14)(15) 両チーム、マンツーマンディフェンスでスタート。まず Regain が(7)(10)の3Pシュートでゲームの流れをつかみ、残5分で 12-6 とする。しかし、Do!琴丘は(8)の3Pシュートや速攻、(4)の速攻からのバスケットカウントで 12-16 と逆転に成功する。Regain も (7)の連続3Pシュートで反撃し、18-22 Do!琴丘 リードで1Qを終了する。</p> <p>【2Q】 Do!琴丘は (15)の3Pシュート、(4)のリバウンドからのシュートなどで残6分に 23-34 とリードを広げる。しかし、Regain (16)の3Pシュートで反撃し、6点差に詰める。その後、Do!琴丘は、(9)(14)のオフェンスリバウンドからの得点や、(8)の速攻からのバスケットカウントで、残3分には再びリードを10点に広げる。このまま Do!琴丘 有利にゲームが進むかと思われたが、Regain (6)(7) の3Pシュートで反撃し、38-42 Do!琴丘 リードで2Qを終了する。</p> <p>【3Q】 開始から Do!琴丘がゲームの主導権をにぎり、残5分には13点差をつける。Regain も (19)のアウトサイドシュートや(6)のスティールからの速攻で反撃するが、Do!琴丘はオフェンスリバウンドを頑張り、(4)の2Pで残3分には 44-59 とする。しかし、Regain は (10)の速攻、(16)のリバウンドからのシュートで点差を詰め、51-59 Do!琴丘リードで3Qを終了する。</p> <p>【4Q】 両者激しいディフェンスで、なかなか得点ができず、残5分で 52-65 で Do!琴丘リード。その後 Regain の反撃が始まり、(19)の2Pシュート、(7)の連続3Pシュートで残1分30秒には、5点差まで詰め寄る。しかし、最後はDo!琴丘(4)(8) がきっちりフリースローを2本決め、63-69 で Do!琴丘が逃げ切った。</p>																
記録者				和歌山県クラブバスケットボール連盟						萱野 雅章						

大会名	第30回 近畿クラブバスケットボール選手権大会 兼 第38回 全日本クラブバスケットボール選手権大会 近畿予選				
-----	--	--	--	--	--

日付	平成24年1月22日	開始時間	12:30	会場	和歌山ビッグホエール
----	------------	------	-------	----	------------

女子 5 位 決定 戦															
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

マタドールズ MATADORS	49	15	Period 1	20	85	ピー イエスピー
		10	Period 2	14		P. YES. P
		6	Period 3	26		
(大阪4位)		18	Period 4	25		
			Extra Period			(京都1位)

No.	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	Ft	Foul	No.	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	Ft	Foul
3	森内 沙樹	×	9	3	6		3	4	三上 優子	×	5		4	1	1
6	大谷 亜希	×	0					5	角井 梨恵		0				
7	平岩 真由子	×	6		6		5	6	森 沙奈絵	×	13		12	1	2
8	内村 奈月		0					7	宮崎 舞		0				
9	原田 奈未		0					8	吉田 恵美		0				
11	本山 娃由子	×	18	6	12		1	9	岡田 文恵	×	1			1	2
12	高野 礼子		0					12	出口 みな子		0				
17	東野 陽子		0					13	吉川 文恵	×	34	3	18	13	3
19	中野 麻由	×	8		8		4	14	岡田 聖子		0				
21	榊井 理加	×	4		4		3	15	高島 真琴	×	19		16	3	4
28	渡邊 志歩	×	0				1	16	瀬戸山 麻代		0				
33	上蔭 麻衣	×	4		4		5	17	中尾 泰子	×	11		10	1	1
			0					18	柴垣 春奈		0				
			0					19	坪野 由紀子	×	2		2		
			0								0				
			0								0				
計			49	9	40	0	22	計			85	3	62	20	13

主審	金蔵 正幸	副審	渡辺 恵理
----	-------	----	-------

【1Q】
MATADORS (3)(7)(11)(19)(33) P. YES. P (6)(9)(13)(15)(17) 両チーム共にマンツーマンでスタート。P. YES. P はインサイドを中心にオフェンスを展開し、(13)の連続シュートでリズムを掴む。対するMATADORSは、アップテンポなオフェンスを展開し、得点を重ねる。15-20 P. YES. P リードで1Q終了。

【2Q】
P. YES. Pはディフェンスのプレッシャーを強め、MATADORSに得点を許さない。P. YES. Pは(13)のドライブ、(4)の速攻で得点し、流れを引き寄せる。25-34 P. YES. P リードで2Q終了。

【3Q】
P. YES. P は開始早々、激しいディフェンスから、ターンオーバーを誘発し、速攻にて得点を重ね、リードを広げる。MATADORS はディフェンスをオールコートに切り替え、リズムを変えようとするが、P. YES. P にゲームをコントロールされ、点差が縮まらない。31-60 でP. YES. P リードで3Q終了。

【4Q】
MATADORS はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけるが、P. YES. P (13)の連続シュートで点差を広げ、終始ゲームをコントロールした P. YES. P が 85-49 で勝利した。